

# TOTO

## スリムタイプC(埋込なし)

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

下記商品の取り付けは、各商品に同梱の施工説明書を参照してください。  
自動水栓・手すり・ハンドグリップ・棚付二連紙巻器・石けん受け

### 安全上のご注意 安全のために必ずお守りください。

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。



**警告**

誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



してはいけない「禁止」の内容です。








必ず実行していただく「強制」の内容です。

 <b>警告</b>	 分解禁止	<b>修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わない</b> 火災や感電の原因となります。	 ぬれた手禁止	<b>ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない</b> 感電の原因となります。
	 アース接地	<b>アース(D種接地)工事がされていることを確認する</b> アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。	 水場使用禁止	<b>浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない</b> 火災や感電の原因となります。 商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。
	 禁止	<b>水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない</b> 皮膚の炎症などを起こす原因となります。	<b>電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいままで使用しない</b> 火災や感電の原因となります。	
		<b>指定する電源(交流100V)以外では使用しない</b> 火災の原因となります。	<b>ガタついているコンセントは使わない</b> 火災や感電の原因となります。	
		<b>電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない</b> 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。	<b>給水および排水管の真下部にコンセントを設置しない</b> 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	
		<b>屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない</b> 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。	<b>器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない</b> 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	
<b>雷が発生しているときは、電源プラグに触れない</b> 感電の原因となります。	<b>コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない</b> たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。			

UGX1001Y



 <b>警告</b>  必ず守る	<b>電源プラグは根元まで確実に差し込む</b> 火災や感電の原因となります	<b>壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏を補強する</b> 商品の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。
	<b>コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する</b> 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	<b>電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く</b> コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。
	<b>取り付け面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する</b> 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	<b>工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する</b> 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。
	<b>商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する</b> 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。 <b>コンセントは水や小水がかからない位置に設置する</b> コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。	<b>機器の設置は専門業者が行う</b> <b>また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う</b> 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。

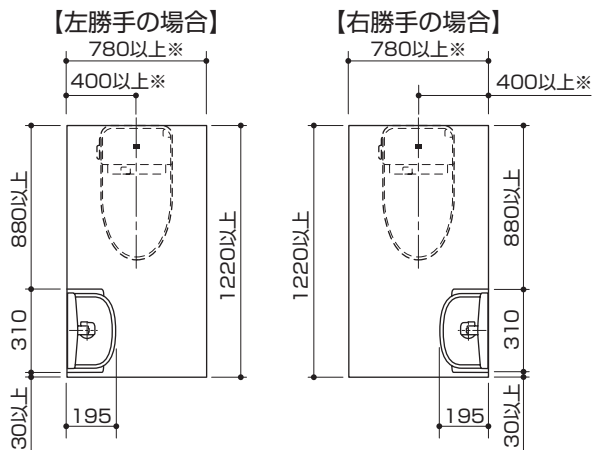
 禁止	<b>商品に強い力や衝撃を与えない</b> 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	<b>給水ホースが破損するようなことをしない</b> <b>傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり加熱したりしない</b> 給水ホースが破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の原因となります。
	<b>止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない</b> 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 <b>カウンターの上面に乗って作業しない</b> カウンターが破損したり落下したりして、けがの原因となります。	
 <b>注意</b>  必ず守る	<b>推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する</b> 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。	<b>商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する</b> 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。
	<b>カットした面は滑らかに仕上げる</b> 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。	<b>商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する</b> 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。
	<b>ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する</b> 商品が破損し、けがをする原因となります	<b>給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する</b> 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	<b>設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する</b> 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	<b>給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める</b> 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	<b>水準器を用いて水平に設置する</b> 収納物が落下してけがの原因となります。	<b>凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行う</b> 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	<b>工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する</b> 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	

# 1 取り付け前のご注意

1. 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドア枠などの干渉により扉が開かなくなる場合がありますので、「設置寸法について」を参考に設置してください。
2. 施工前に給水取出位置・排水管位置およびコンセント位置が所定の位置であることを確認してください。
3. キャビネットの表面にテープ・シール等を貼らないでください。

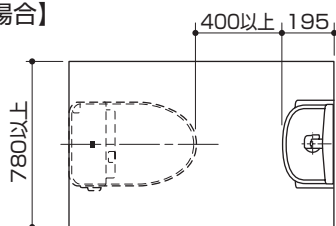
## 1 設置寸法について

### 手洗器単体タイプ

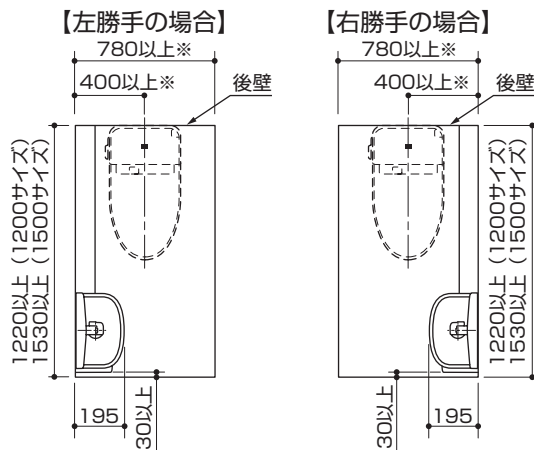


※ネオレストAH・RH・Dとセットする場合、750以上、375以上から設置可能です。

### 【対面設置の場合】

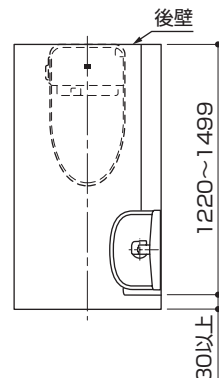


### カウンタータイプ(1200/1500サイズ)



※ネオレストAH・RH・Dとセットする場合、750以上、375以上から設置可能です。

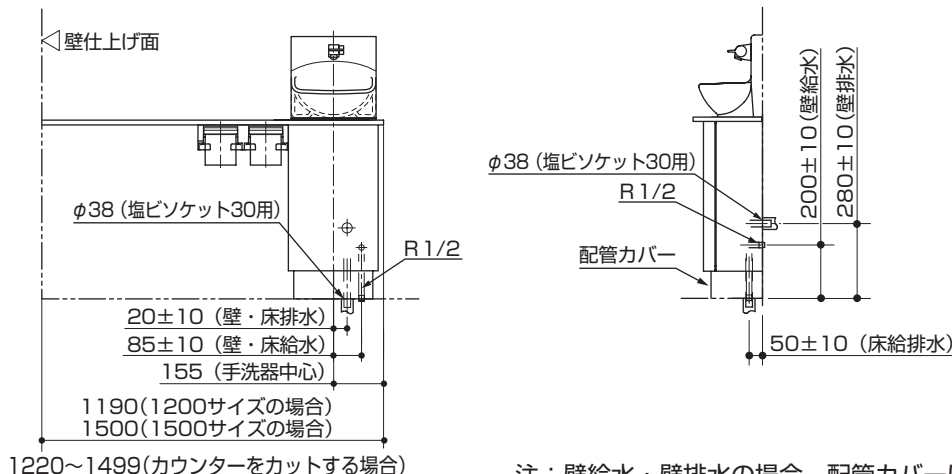
- ・1500サイズのカウンターは、トイレ奥行に合わせてカットすることができます。カットする際は、周辺機器の取り合いを十分確認してください。
- ・カウンター端部を後壁に突き当てて取り付けてください。



## 2 給排水取出位置について

- ・設備側給水管の立ち上げは、壁・床仕上げ面と同一面にしてください。
- ・カウンターをカットする場合は、カウンター長さに合わせて給排水の取り出しを行ってください。
- ・給水圧力範囲は、最低必要水圧:0.05MPa(流動時)、最高水圧:0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲であることをご確認ください。

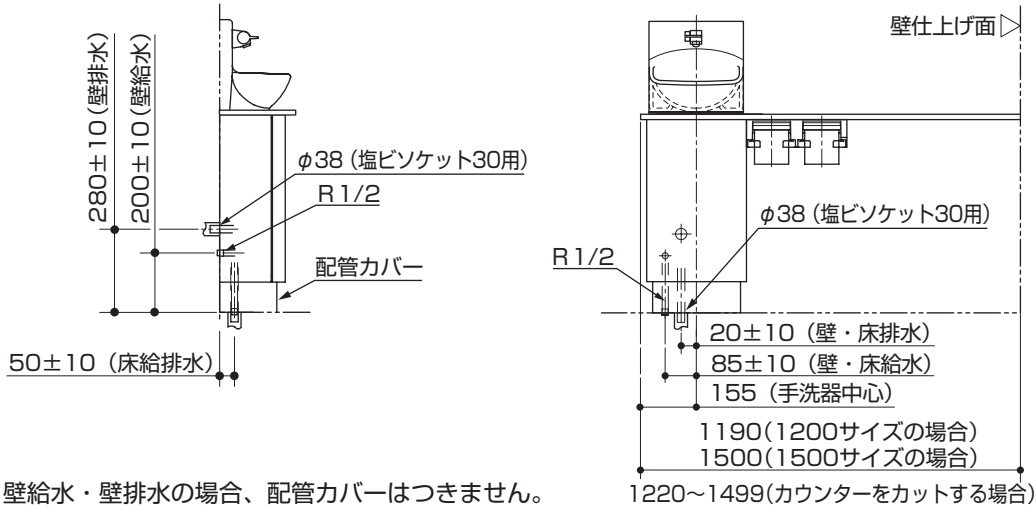
### 右勝手



注：壁給水・壁排水の場合、配管カバーはつきません。

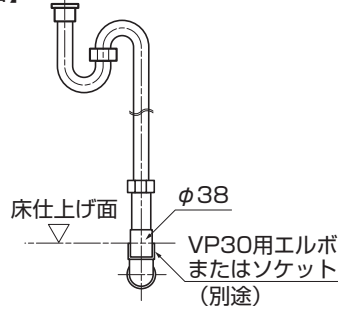
## 2 給排水取出位置について (つづき)

左勝手

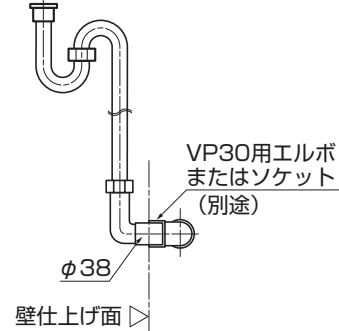


### 排水管立ち上げ詳細(設備工事(別途))

【床排水の場合】



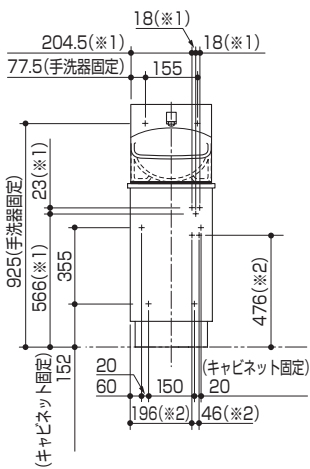
【壁排水の場合】



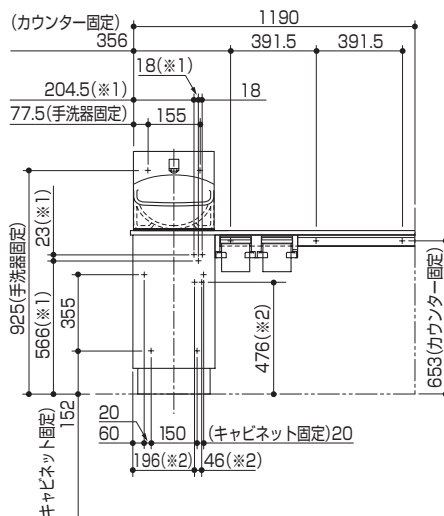
## 3 補強材について

### 固定ねじ位置

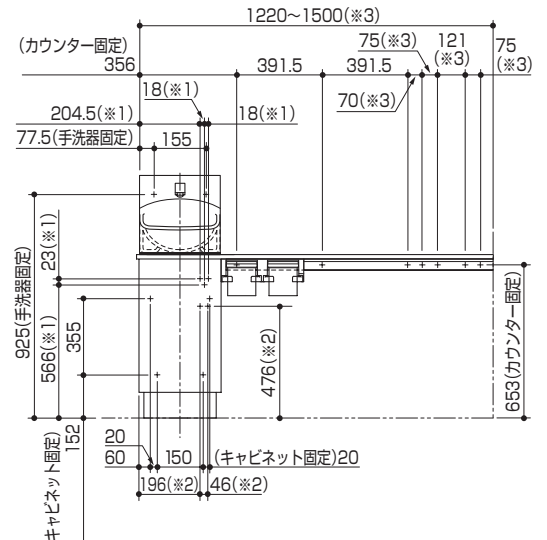
【手洗器単体タイプ】



【1200カウンタータイプ】



【1500カウンターフリーカットタイプ】



※1 自動水栓(電気温水器付を含む)の場合  
 ※2 自動水栓(電気温水器付)の場合

※1 自動水栓(電気温水器付を含む)の場合  
 ※2 自動水栓(電気温水器付)の場合

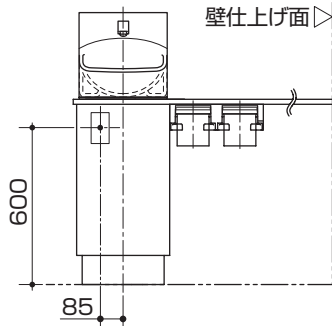
※1 自動水栓(電気温水器付を含む)の場合  
 ※2 自動水栓(電気温水器付)の場合  
 ※3 カウンターをカットする場合は寸法が変わります。

- ・あらかじめ壁固定位置に補強材(幅90mm×厚さ30mm耐加重 1961N/m(200kgf/m))または、厚さ12mm以上の補強合板(JAS規格相当品)を壁全体に入れておいてください。(建築工事)
- ・タイル、コンクリート壁の場合は、壁固定位置に下穴をあけ、コンクリート用プラグ(現場手配)を打ち込んでおいてください。

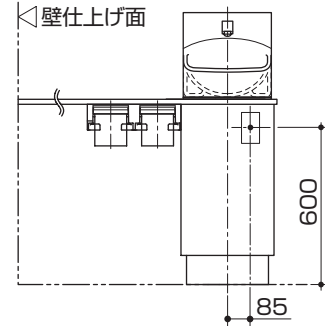
## 4 電気配線について

- ・自動水栓・電気温水器付自動水栓をセットされる場合、あらかじめ下図の位置に壁埋込式コンセント(電気温水器付自動水栓の場合は接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセント)を設置してください。
- ・定格消費電力:自動水栓(常時0.4W(作動時0.6W))、電気温水器(505W)
- ・コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。

左勝手



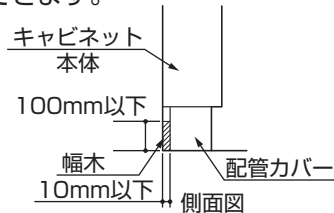
右勝手



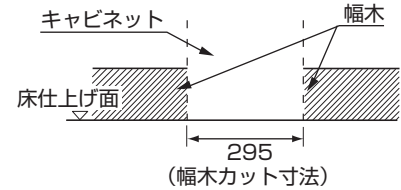
## 5 幅木について

本商品ではキャビネット本体と配管カバー部分が別体になっており、幅木の厚み分配管カバーを前にずらすことにより幅木カット不要で簡易取り付けできます。

- ・配管カバーを幅木にぴったりつけて取り付け。



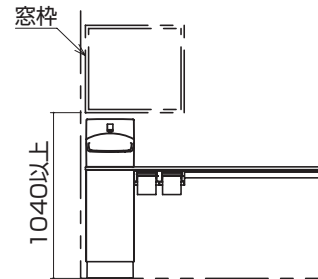
※配管カバー部分も壁にすき間なく取り付ける場合は、下図の寸法で幅木をカットしてください。



※すき間が目立つ場合は、上図のように幅木をカットすることをおすすめします。

## 6 窓枠について

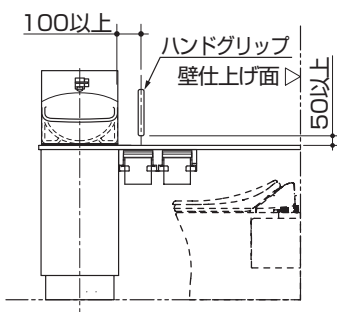
窓がある場合、右図のような制約が付きます。事前に製品と干渉しないように注意してください。



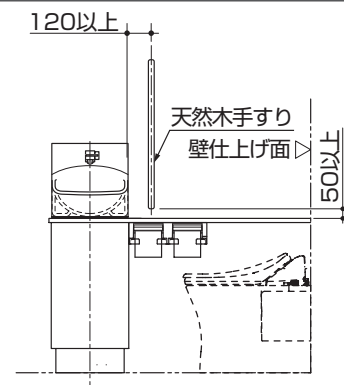
## 7 ハンドグリップ、天然木手すり取り付け位置について

- ①設置の際は、下図の有効寸法をお守りください。
- ②便器の前出寸法は機種によって異なりますので、使用者が特定できる場合はその使いやすさに合わせて取付位置を決定ください。

1200カウンターサイズ



1500カウンターサイズ





# 8 必要工具

※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してください。



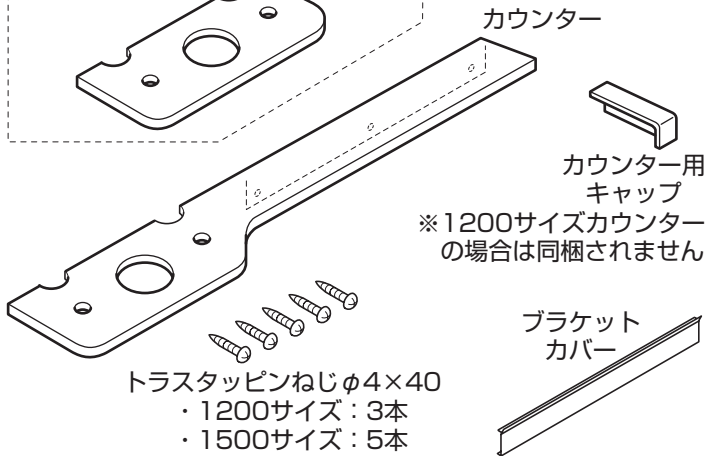
## 2 部品の確認

専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。

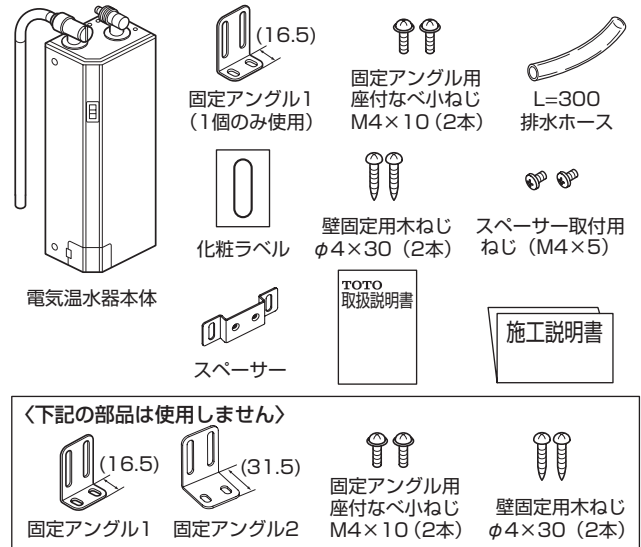
<p><b>手洗器部</b></p> <p>手洗器</p>	<p><b>手洗器キャビネット部</b></p> <p>手洗器キャビネット</p> <p>底板</p> <p>配管カバー ※壁給水・壁排水の場合は配管カバーはありません。</p> <p>排水金具</p> <p>三角パッキン</p> <p>スリップワッシャー</p> <p>接続管</p> <p>トラスタッピンねじ <math>\phi 4 \times 30</math> (4本)</p> <p>固定ねじ <math>\phi 4.5 \times 50</math> (4本)</p> <p>固定ブッシュ (2個)</p> <p>トラス小ねじ M5<math>\times</math>60 (2本)</p> <p>ワッシャー (2個)</p> <p>化粧キャップ (4個)</p> <p>手洗器固定金具</p> <p>型紙</p>			
<p>TOTO 施工説明書</p> <p>TOTO 取扱説明書</p> <p>施工説明書 (本書)</p> <p>取扱説明書</p> <p>開閉工具</p>				
<p><b>紙巻器</b></p> <p>紙巻器 (カウンタータイプの場合のみ)</p>	<p>棚付二連紙巻器 (単体タイプの場合のみ)</p>	<p><b>石けん受け</b></p> <p>石けん受け (埋込なし手洗器)</p>	<p>石けん受け (壁付)</p>	<p>天然木手すり (天然木手すり付の場合のみ)</p>
<p><b>配管用化粧ベフ</b></p>	<p><b>止水栓</b></p> <p>ハンドル式水栓 壁給水 床給水</p> <p>自動水栓 壁給水 床給水</p>	<p>タオル掛け本体</p> <p>皿タッピンねじ <math>\phi 4 \times 16</math> (4本)</p>	<p><b>排水金具</b></p> <p>クイックファスナー</p> <p>排水管</p>	<p>ハンドグリップ (ハンドグリップ付の場合のみ)</p>
<p><b>自動水栓の場合のみ</b></p> <p>コントローラー</p> <p>自動水栓機能部</p> <p>ホースクランプ</p> <p>コントローラー固定材</p> <p><math>\phi 4 \times 30</math> トラスタッピンねじ<math>\times 3</math></p>				

## カウンター部

※単体タイプの場合、カウンターはキャビネット部の包装箱に入っています。



## 電気温水器(電気温水器付の場合)



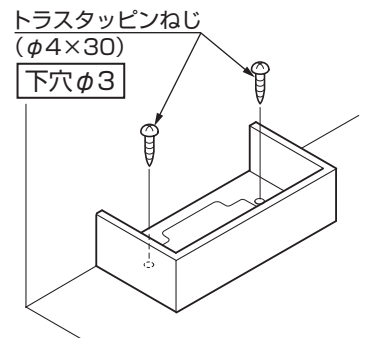
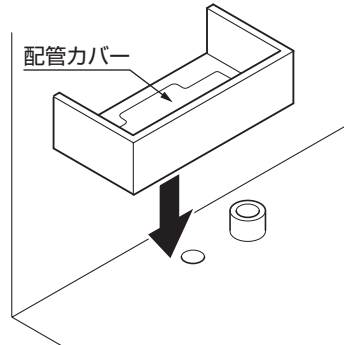
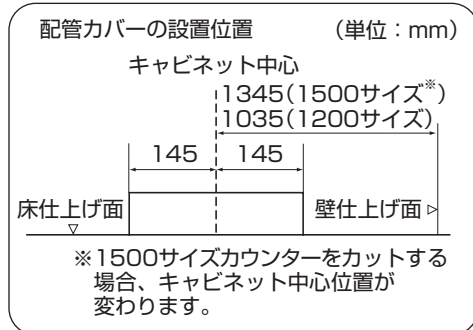
# 3 部材の取り付け

※この施工説明書では左勝手を説明しています。

## 1 配管カバーを取り付ける (床給水/床排水の場合のみ)

① 配管カバーを設置場所に仮置きし、床に下穴 ( $\phi 3$ ) をあける。

② 同梱のねじ (キャビネット固定用ねじセット) で固定する。

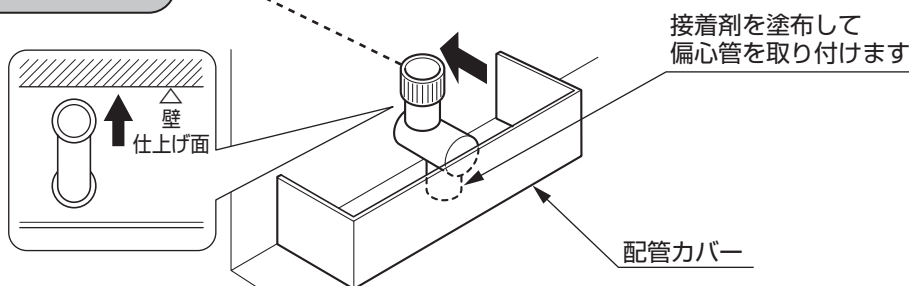


## 2 偏心管を取り付ける (床排水の場合のみ)

現場の排水位置に合わせて設備側排水管と偏心管末端に接着剤を塗布して偏心管を取り付ける。

### ポイント

排水管差し込み口が奥向きになるように取り付ける。



# 3 キャビネットの固定

## 配管カバーありの場合(床給水/床排水の場合)

水平確認

- ① キャビネットを配管カバーに仮置きし、水平を確認する。
- ② 壁に取り付け穴位置をけがき、下穴(φ4)をあける。
- ③ 同梱のねじで固定し、化粧キャップを取り付ける。

固定ねじ φ4.5×50(4本)  
化粧キャップ(4個)

下穴φ4

キャビネットの設置位置 (単位: mm)

キャビネット中心  
壁仕上げ面  
1345 (1500サイズ)  
1035 (1200サイズ)  
145 床仕上げ面

※1500サイズカウンターをカットする場合、キャビネット中心位置が変わります。

## 配管カバーなしの場合(壁給水/壁排水の場合)

- ① 下図を参照し、壁に取り付け位置をけがく。

キャビネットの設置位置 (単位: mm)

壁仕上げ面  
1345 (1500サイズ)  
1035 (1200サイズ)  
床仕上げ面

682 (側板上端まで)  
107 (側板下端まで)

※1500サイズカウンターをカットする場合、キャビネット中心位置が変わります。

- ② キャビネットを壁に押し当て、水平を確認する。
- ③ 壁に取り付け穴位置をけがき、下穴(φ4)をあける。
- ④ 同梱のねじで固定し、化粧キャップを取り付ける。

水平確認

固定ねじ φ4.5×50(4本)  
化粧キャップ(4個)

下穴φ4

# 4 カウンターの取り付け

- ① キャビネット上部のダボをカウンター裏面の穴に差し込む。
- ② カウンターの水平を確認し、壁に取り付け位置をけがく。

### 1200サイズカウンターの場合

水平確認

後壁に押し当てる

3カ所は必ず固定

### 1500サイズカウンターの場合

カットする場合も取り付け方は同じです。

水平確認

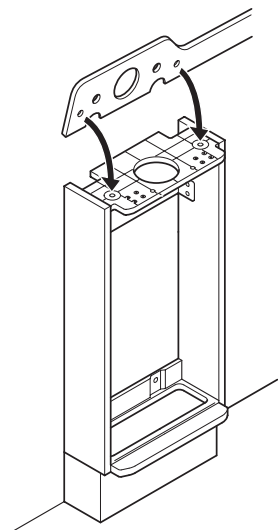
固定しない穴が出てくる場合があります

後壁に押し当てる

4カ所は必ず固定

固定扉側1カ所を固定  
※キャビネットから20mm以下の場合は端から2番目の穴を使用する

※固定用穴が5カ所以上ある場合、5カ所固定してください。





## 4 カウンターの取り付け (つづき)

### 1500サイズカウンターをカットする場合

- ① カウンター本体・ブラケットカバーを[A-2mm]でカットする。  
 (A: 後壁からカウンター先端までの長さ)  
 ※Aは1220~1500mmの範囲となります。1220mm以下  
 になりますと、キャップの取り付けができません。

⚠ 注意



必ず守る

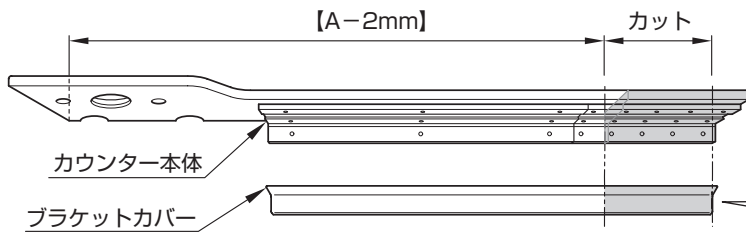
カットした面は滑らかに  
仕上げる

お客様の手が触れ、けがを  
するおそれがあります。

- ② カウンターのカット面に  
カウンターキャップを  
はめる

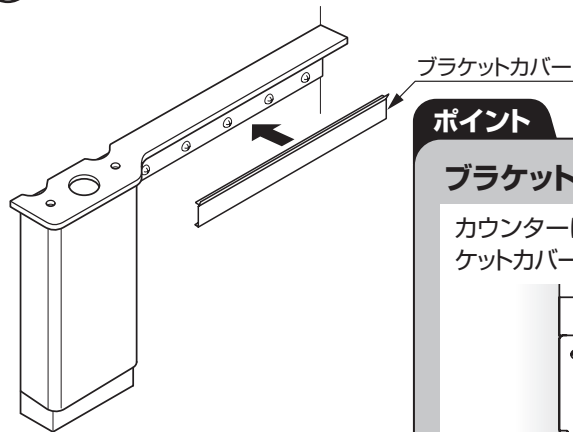
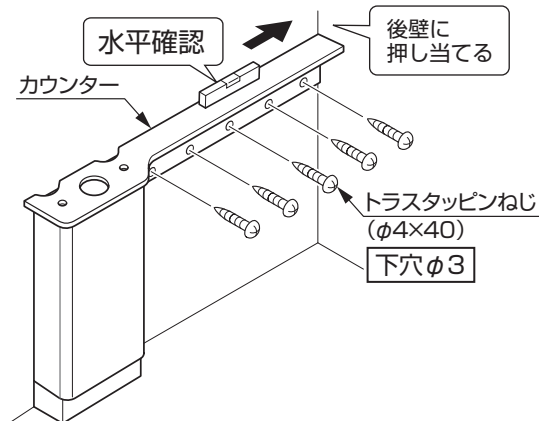


ブラケットカバーの向き



- ③ けがいた箇所の下穴(φ3)を開け、  
同梱のねじで固定する。

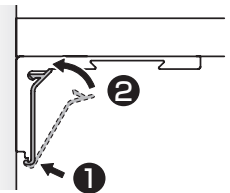
- ④ ブラケットカバーを取り付ける。



ポイント

ブラケットカバーをはめ込む

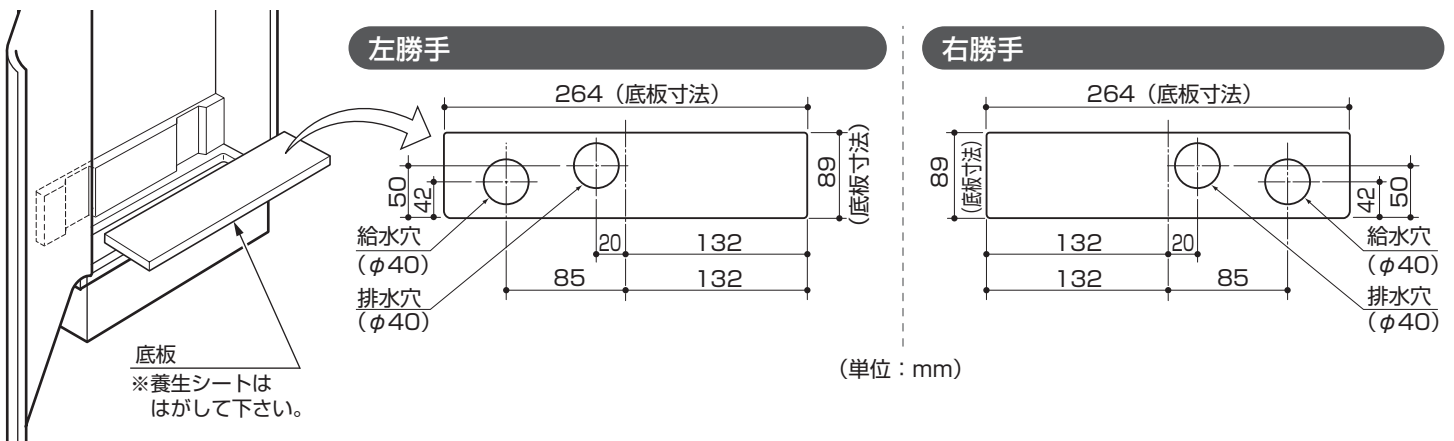
カウンターに引っ掛けるようにブラ  
ケットカバーをセットする



※図は1500サイズの場合

## 5 底板の給水・排水穴あけ

現場の給排水位置に合わせて、底板を右図の寸法にて穴あけする。(底板は着脱式です。穴あけは自由キリを使うと便利です。)



# 6 手洗器の取り付け

## 1 排水金具本体を取り付ける

- ① 右図のように排水金具を手洗器にセットする  
ねじ部にシリコン系シーラントを塗布し、接続管を締める

### ポイント

締め付け力の目安としては、手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転締め付けるくらいが適切です。

### 注意



**排水金具ねじ部には、必ずシリコン系シーラントを塗布する**

必ず実行

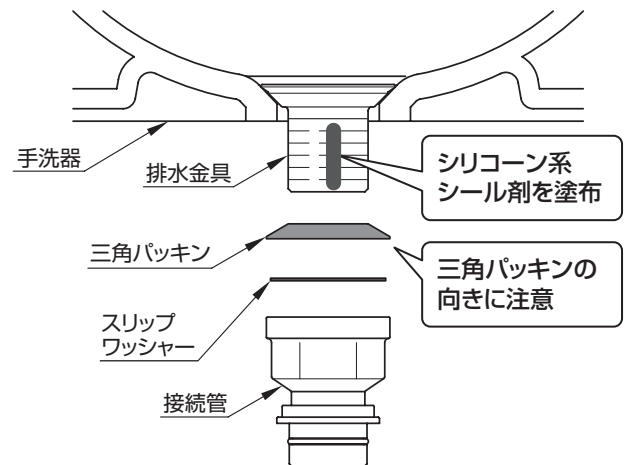
水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



禁止

**接続管を締め過ぎない**

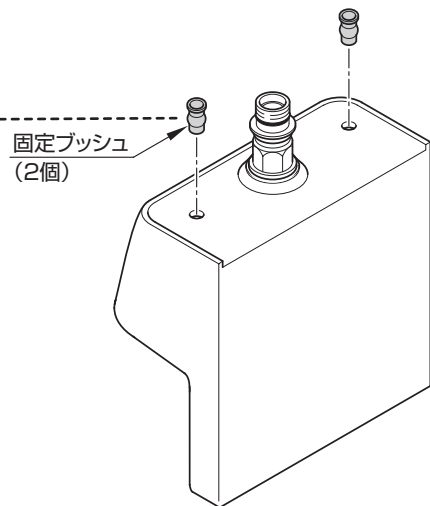
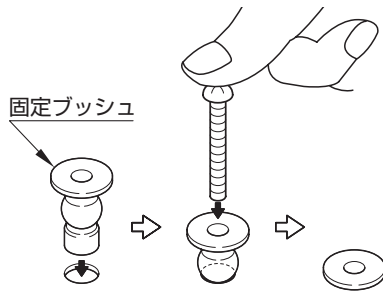
排水金具が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



- ② 手洗器裏面の穴に固定ブッシュを2個取り付ける

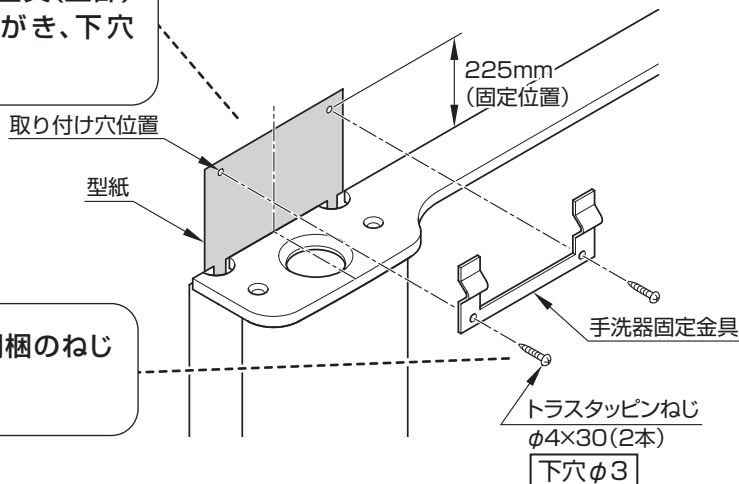
### ポイント

取付けねじで押すと容易に挿入できます。



## 2 手洗器を取り付ける

- ① 型紙で、手洗器固定金具(上部)取り付け位置をけがき、下穴(φ3)を開ける



- ② 手洗器固定金具を同梱のねじで壁に固定する

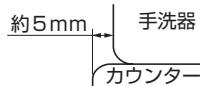
## 6 手洗器の取り付け (つづき)

### 2 手洗器を取り付ける(つづき)

#### 3 手洗器を手洗器固定金具に差し込む

##### ポイント

手洗器を図のように合わせる

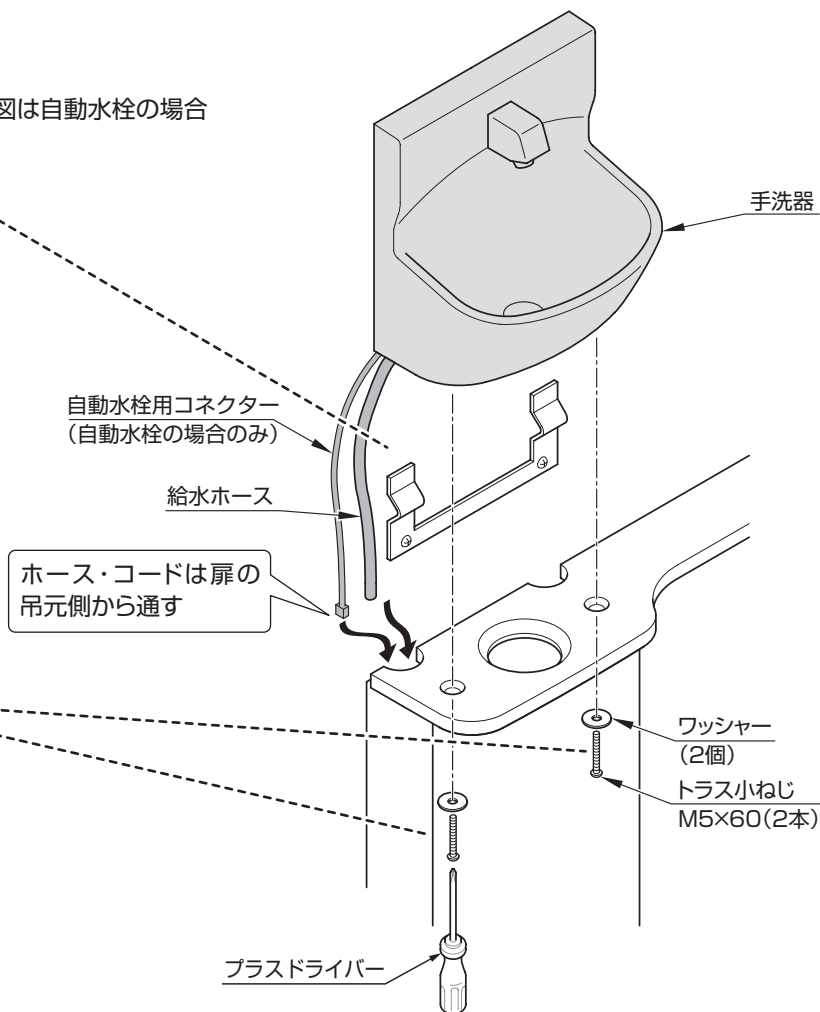


#### 4 手洗器キャビネットの下からトラス小ねじM5×60(2本)とワッシャー(2個)で固定する ※トラス小ねじは回らなくなるまでしっかり締め付けてください。

##### ポイント

手締めすること

※図は自動水栓の場合

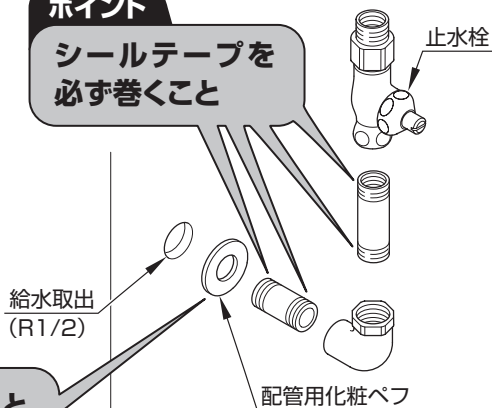


## 7 止水栓の取り付け

### 壁給水

##### ポイント

シールテープを必ず巻くこと



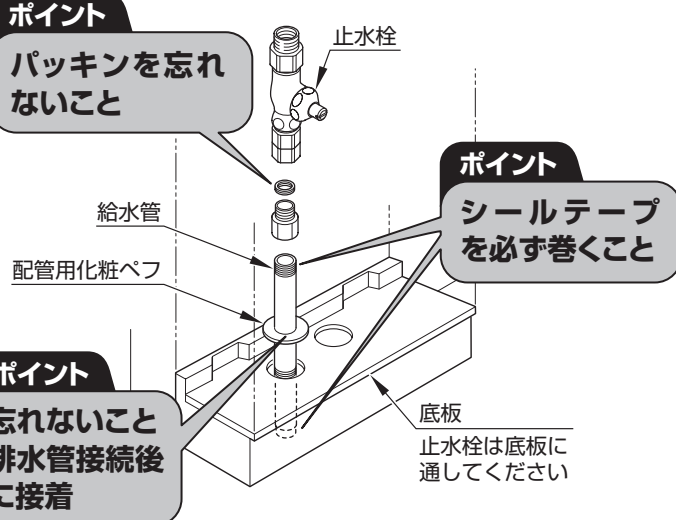
##### ポイント

忘れないこと

### 床給水

##### ポイント

パッキンを忘れないこと



##### ポイント

忘れないこと  
排水管接続後に接着

##### ポイント

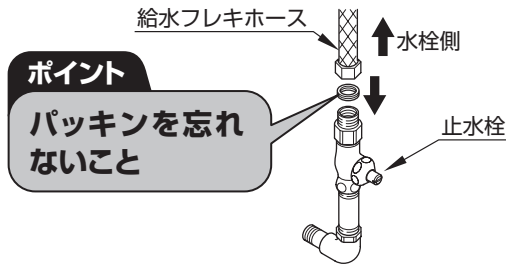
シールテープを必ず巻くこと

※図はハンドル式水栓の場合

# 8 給水管の接続

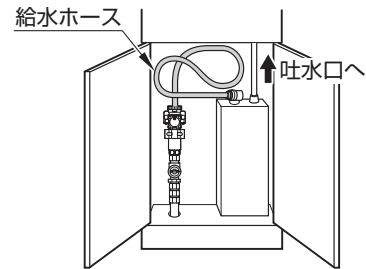
## ハンドル式水栓の場合

① 給水フレキホースを接続する。



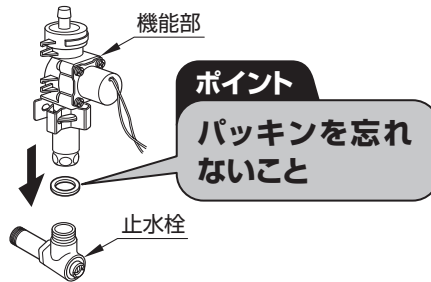
## 電気温水器付き自動水栓の場合

**参照** ※詳細は電気温水器に同梱の施工説明書を参照してください。  
※給水ホースの取り回しは、下図を参照してください。



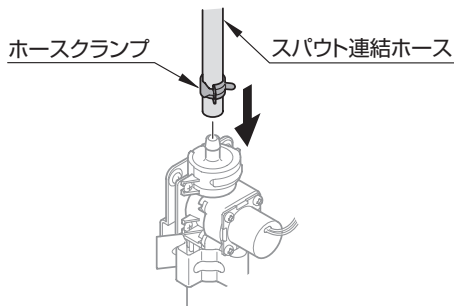
## 自動水栓の場合

1 **機能部**を取り付ける



2 **スパウト連結ホース**を接続する

スパウト連結ホースを適切な長さに切断し、接続する。

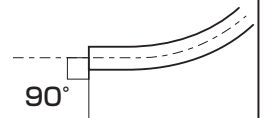


### 注意



必ず守る

スパウト連結ホースを切断する際は、カッターなどを用い、切断面が垂直になるようにしてください。  
(斜めに切断すると水漏れのおそれがあります。)  
給水ホース接続後、軽く引っ張り抜けにくいこと。

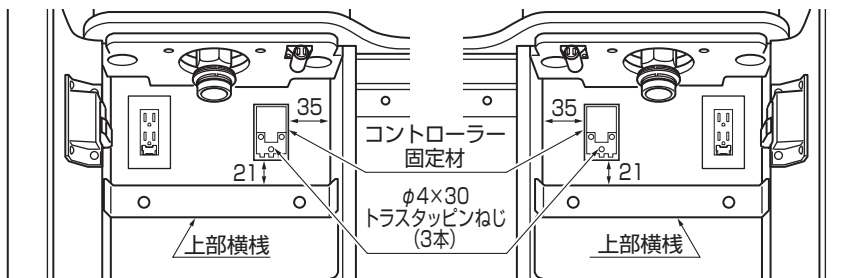


3 **コントローラー**を取り付ける

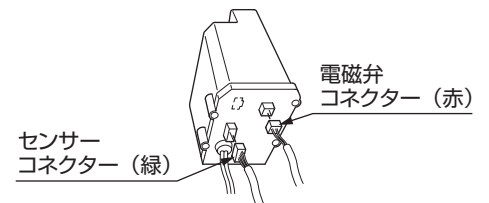
① コントローラー固定材を下図の位置に取り付ける。(単位: mm)

【左勝手】

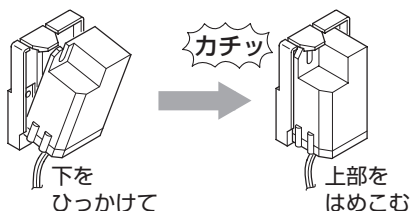
【右勝手】



② センサーコネクター(緑)と電磁弁コネクター(赤)をカチッというまで差し込む



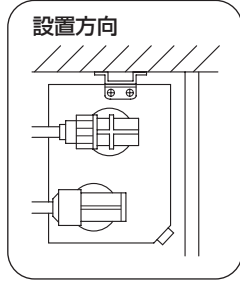
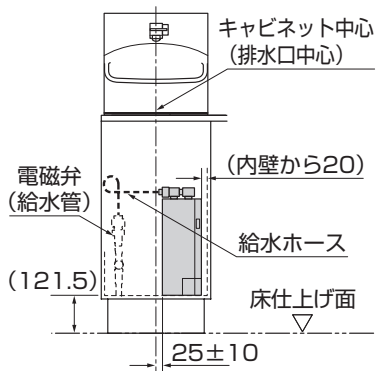
③ コントローラーをコントローラー固定材にはめ込む。



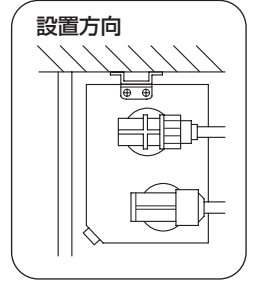
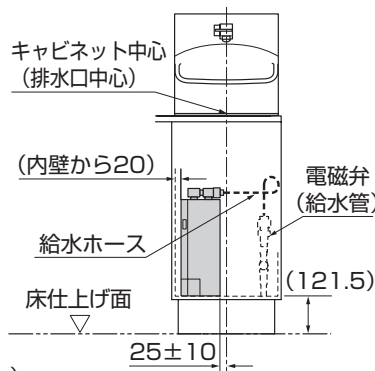
# 9 電気温水器本体の取り付け(電気温水器付き自動水栓の場合)

**参照** ※詳細は電気温水器に同梱の施工説明書を参照してください。  
 ※取り付け面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用してください。

左勝手



右勝手



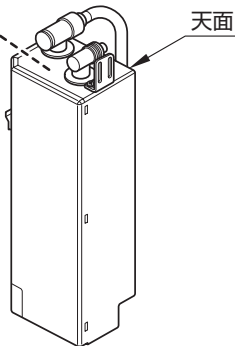
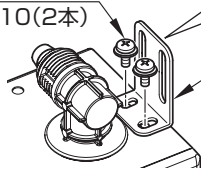
(単位: mm)

① 電気温水器に固定アンクル1を同梱のねじで取り付ける

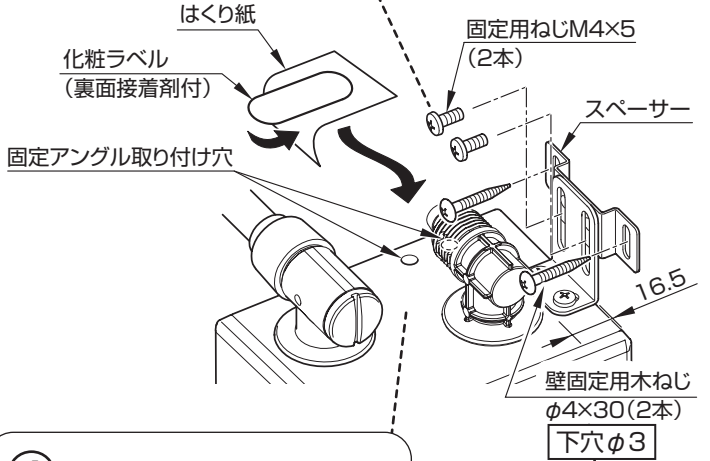
固定アンクル用  
座付なべ小ねじ  
M4×10(2本)

短辺側を  
本体に取り付ける

固定アンクル1



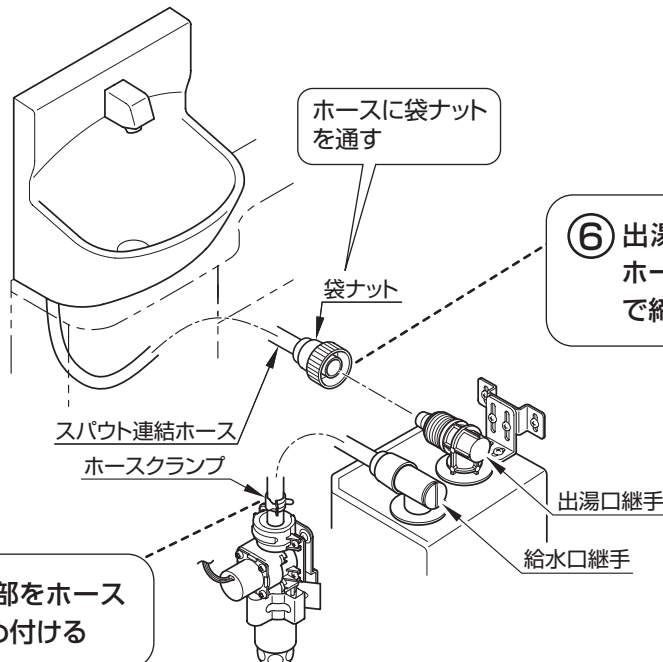
② スペースを固定アンクルに同梱のねじで取り付ける



④ 化粧ラベルで電気温水器本体上部の固定アンクルを取り付けない方(長辺側)の穴に貼り付けてふさぐ

③ 本体を壁に同梱のねじで取り付ける

⑤ ホースと機能部をホースクランプで締め付ける



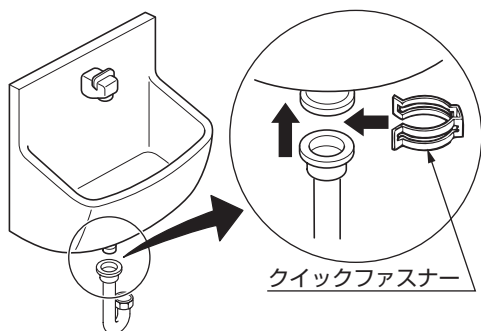
⑥ 出湯口継手にスパウト連結ホースを差し込み、袋ナットで締め付ける



# 10 排水管の接続

## 床排水 / 壁排水共通

- ① 手洗器排水口にトラップを差し込みクイックファスナーで固定する。

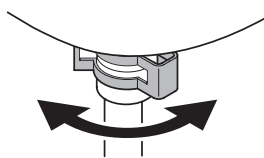


### 注意

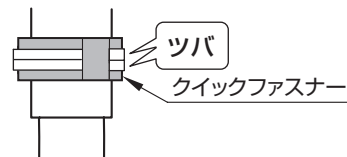


必ず実行

クイックファスナーが正しく固定されていることを確認する



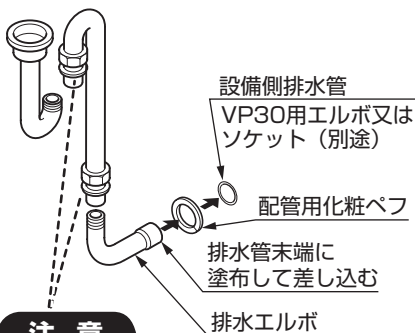
クイックファスナーの全周にツバがかかっていることを確認する



水漏れして家財などがぬれる財産損害発生の原因となります。

## 壁排水

- ② 排水管の2カ所の袋ナットを緩めて位置決めを行う。
- ③ 設備側排水管と排水管末端に接着剤を塗布して差し込む。



### 注意

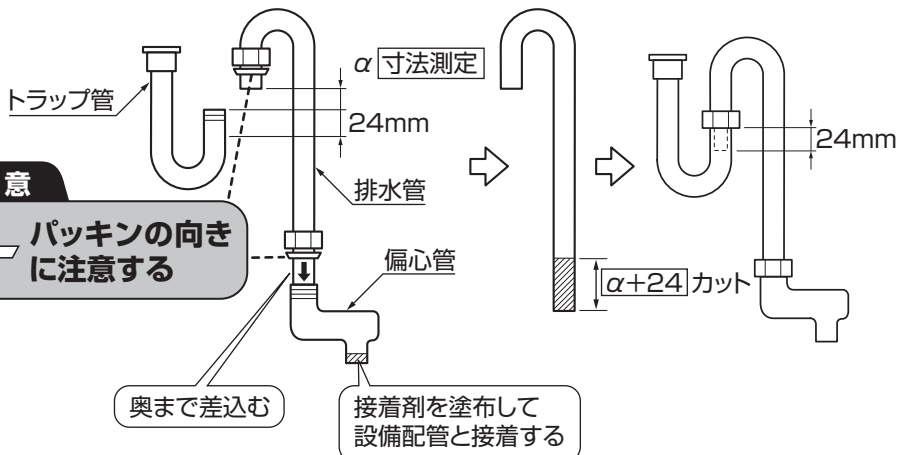
パッキンの向きに注意する

## 床排水

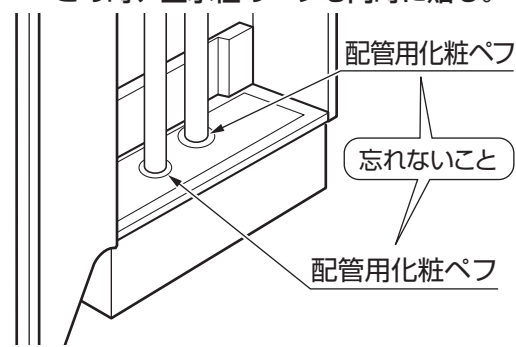
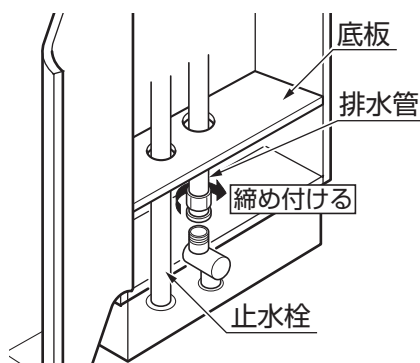
- ② 排水管と偏心管の袋ナットを緩める。
- ③ 排水管を偏心管へ差し込む。  
長さが合わない場合は、図のようにカット寸法を確認し排水管をカットする。

### 注意

パッキンの向きに注意する



- ④ 底板の開口に通してから偏心管及びトラップと接続する。
- ⑤ 締め付け後、底板をしっかりとめ込み、排水管のすき間にペフを貼る。  
この時、止水栓のペフも同時に貼る。



※図は床給水・床排水の場合

# 4 器具類の取り付け

- 1 ハンドグリップ、天然木手すり、棚付二連紙巻器、石けん受け(壁付)の取り付け

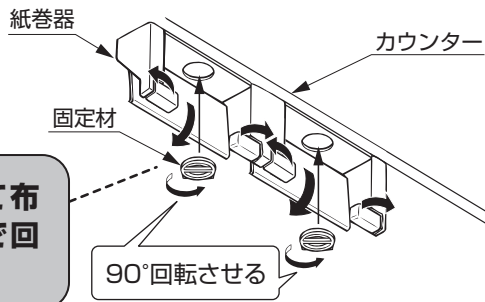
参照 ※詳しくは、各商品に同梱の施工説明書を参照してください。

## 2 紙巻器の取り付け（カウンタータイプの場合のみ）

紙巻器を設置部に押し当て、図のように付属の固定ピースで90°回転させて取り付ける。  
固定後、紙切板を元に戻す。

### ポイント

固い場合は、当て布をしてペンチ等で回転させる

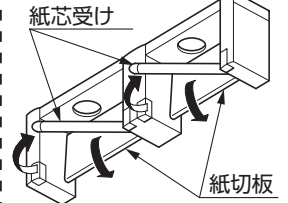


### 注意

固定ピースは確実に90°回転させて固定する  
落下の原因となります。

図のように紙芯受けを外側に開き紙切板を奥方向に倒してください。

芯なし対応品の場合

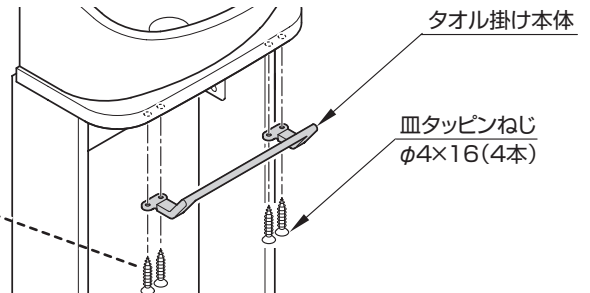


## 3 タオル掛けの取り付け（タオル掛けありの場合のみ）

カウンター裏面の下穴に同梱のねじで固定する

### ポイント

ドライバーにて手締めすること



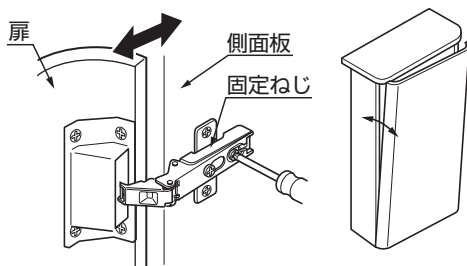
# 5 仕上げ・調整

## 1 扉の調整

キャビネット据付け後、扉のすき間が不均一だった場合以下の手順にしたがって調整し直してください。

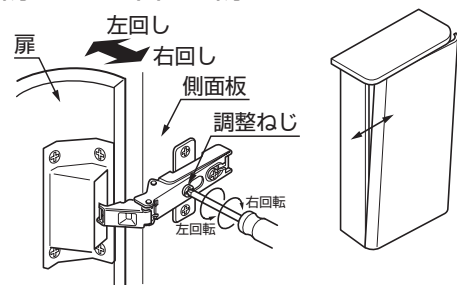
### 前後調整

丁番の固定ねじをゆるめて調整した後、締め直す。



### 左右調整

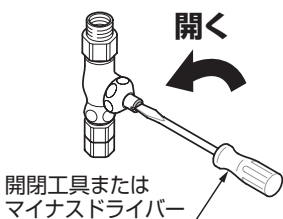
丁番の調整ねじを回して調整する。



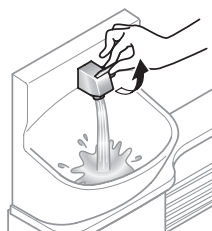
## 2 吐水確認

### ハンドル式水栓

① 止水栓を開ける。

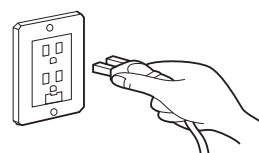


② ハンドルを回して吐水を確認する。



### 自動水栓

① コンセントにプラグを差し込む。



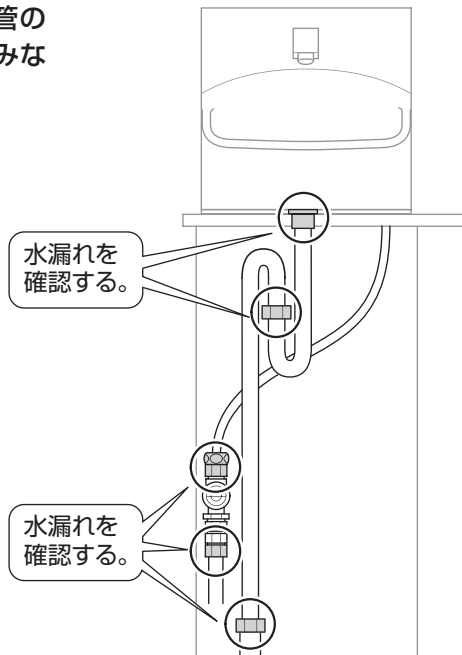
② 止水栓を開けて手洗器に手を差し出し水が出ることを確認する。



**参照** 電気温水器の試運転・吐水確認は、電気温水器に同梱の施工説明書を参照してください。

### 3 給・排水の水漏れ確認

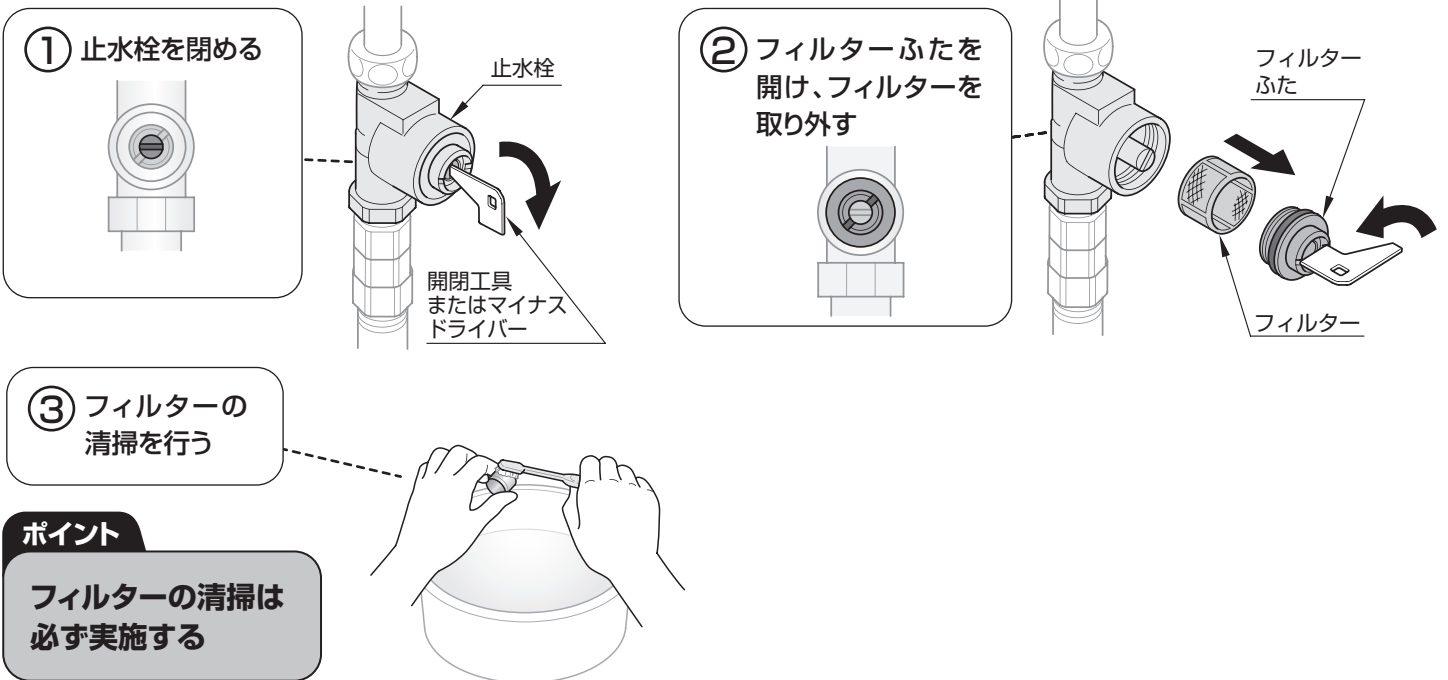
2～3度洗浄させて、給水管や排水管の接合部から水漏れや袋ナットのゆるみなどが無いことを確認する。



※図は床給水・床排水の場合

### 4 フィルターの清掃（自動水栓の場合のみ）

#### 1 止水栓フィルターを掃除する（自動水栓の場合のみ）



#### 工事店様へ

- 取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。
- 新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。